

2013年12月17日

関係各位

野村アグリプランニング &amp; アドバイザリー株式会社

**平成25年度6次産業化優良事例表彰の選定結果について**

野村アグリプランニング&アドバイザリー株式会社(取締役社長:西澤隆)は、2013年12月18日開催の「第1回6次産業化推進シンポジウム」において表彰される平成25年度6次産業化優良事例を選定したと発表した。

- <農林水産大臣賞> 農業生産法人こと京都株式会社(京都府)
- <食料産業局長賞> 株式会社庄内こめ工房(山形県)  
有限会社ひよこカンパニー(鳥取県)  
馬路村農業協同組合(高知県)  
株式会社コココファーム(熊本県)  
あしきた農業協同組合(熊本県)

「6次産業化推進シンポジウム」は、農林水産省の2013年度補助事業「6次産業化ネットワーク活動全国推進事業」の一環として同社が主催する。本シンポジウムでは、6次産業化に取り組む全国各地の優良事例を表彰、紹介するとともに、ネットワーク構築やファンドを活用した事業展開に向けた実践的な手順・ポイントについて、パネルディスカッションを通じて意見交換を行なう。

同社は今後も、農林漁業の成長産業化の推進や地域活性化に積極的に貢献していく。

※ 6次産業化推進シンポジウム概要:

<http://www.nomuraholdings.com/jp/company/group/napa/data/20131105.pdf>

平成25年度6次産業化優良事例表彰の受賞者について:

<http://www.nomuraholdings.com/jp/company/group/napa/data/20131217.pdf>

以上

【ご参考】平成25年度6次産業化優良事列表彰の審査結果について

1. 6次産業化優良事列表彰の概要

6次産業化を進める上で重要な農林漁業者同士の連携、異業種との連携、地域全体のネットワークの構築を一層促進するため、全国各地でそれぞれ地域資源を活かして創意工夫のある様々な6次産業化の取組みを調査・分析し、審査委員会を経て、バリューチェーンやイノベーション、今後の発展性等について選考の上、表彰する。

なお、6次産業化優良事列表彰は今年度初めての取組みである。

2. 選定の経緯

- ① 地方農政局等推薦期間：平成 25 年 8 月 23 日～9 月 6 日
- ② 経営内容調査期間：平成 25 年 8 月 23 日～10 月 31 日
- ③ 地方農政局等を経由して推薦のあった 36 件の中から、平成 25 年 11 月 8 日に開催された第 1 回審査委員会および 11 月 26 日に開催された第 2 回審査委員会において、農林水産大臣賞候補 1 件、食料産業局長賞候補 5 件を選定。

平成25年度6次産業化優良事列表彰 審査委員名簿(敬称略)

氏 名	所 属
伊藤 秀雄	農業生産法人有限会社伊豆沼農産 代表取締役
加藤 百合子	株式会社エムスクエア・ラボ 代表取締役
木内 博一	農事組合法人和郷園 代表理事
佐竹 健次	農林水産省 食料産業局 産業連携課長
高木 勇樹	特定非営利活動法人日本プロ農業総合支援機構 理事長
西澤 隆	野村アグリプランニング&アドバイザー(株)取締役社長
本間 正義(審査委員長)	東京大学大学院農学生命科学研究科教授

3. 応募条件

参加者は、農林漁業者、食品事業者、流通事業者、地方公共団体、観光業者、農林漁業団体等の多様な事業者が参画し、ネットワークを構築している団体(法人、JA等)であり、次に掲げる条件を満たしている者。

- (ア) 売上高が 1 億円以上であり、経営が安定している者
- (イ) 農業者同士、異業種等と連携し、地域・広域のバリューチェーンを構築している者
- (ウ) イノベーションによって 6 次産業化に取り組んでいる者
- (エ) 6 次産業化によって地域貢献・社会貢献を行っている者
- (オ) 既存事業・新規事業において今後の発展性が見込まれる者

## 4. 審査基準

審査基準項目	審査基準細則
経営規模	① 売上高(連結、直前期末) ② 従業員数(連結、直前期末、パート等非正規雇用も含む)
収益性	① 売上高営業利益率(連結、直前期末) ② ROA(連結、直前期末)
成長性	① 売上高直近5年間の年平均成長率 ② 営業利益直近5年間の年平均成長率
バリューチェーン	① 水平連携・垂直連携 ② 地域連携・広域連携
イノベーション	① 先行性:従来なかった商品開発やビジネスモデルに取り組んだ ② 創造性:独自の取組によって、新たなマーケットを創出した
地域貢献 社会貢献	① 雇用の創出 ② 地域活動
今後の発展性	① 既存のビジネスモデルの拡大 ② 新規事業の取組み